



しんゆりマルシェ2015
実行委員会
学生スタッフ

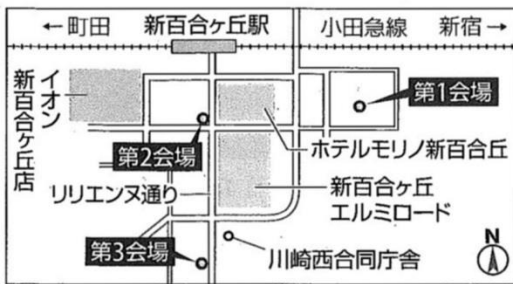
山本夏帆さん



山本さんは1994年生まれ。東京都大学3年。「しんゆりマルシェ2015」は24日午前10時～午後4時、川崎市麻生区の小田急線新百合ヶ丘駅周辺で開催される。同大都市生活学部（東京都世田谷区）の学生のアテから誕生したイベントで、昭和音大、専修大など新百合ヶ丘駅周辺にキャンパスを持つ9大学、地元商店会などが参加し、それぞれの特色を生かした出店や展示を行う。荒天中止。問い合わせは実行委員会事務局（044・281・5036）。

しんゆりマルシェ2015

街のにぎわい 学生が創出



——イベントの目的は。新百合ヶ丘の駅周辺は整った景観で美しい街だと思いますが、広域的な集客に至っていないなどの課題がいくつかあります。

——「しんゆりマルシェ」はどんなイベントか。大学生や地域の商店街などが協力し、街を盛り上げるイベントで、「アートと食」をテーマにしています。ペDESTリアンデッキや住宅展示場、そこにつながる広域的なエリアが会場になります。たくさんさんのブースの出店を予定しています。



——初開催の昨年のマルシェにも参加したか。昨年は会場の装飾や来場者の誘導などに携わりました。あります。新百合ヶ丘は文化の薫りがし、すてきなお店もたくさんあります。これらの魅力をマルシェに来たお客さんに知ってもらい、リピーターになってもらうことが大切です。そのきっかけになればと思います。

——今年マルシェの魅力はPRできるように、出店するパイン屋さん、花屋さん、カフェなど13店舗を取材し、店の特徴や経営者の思いをホームページに掲載しています。事前に取材マニュアルを作成し、質問項目を決めました。学生が写真を撮影し、記事を書きましたが、大学の事務職員さんなどを

初開催ながら盛況だった昨年の「しんゆりマルシェ」（川崎市麻生区で）

相手に模擬取材をしたうえで、本番の取材に出かけました。私は今年もコンシェルジュとして街中に立ちますが、個々のお店の魅力を理解していることが昨年との違いです。新百合ヶ丘とマルシェ、お客さんとマルシェ、お客さんとお客さんのお店を結びつけたいです。マルシェに関心を持ってもらうことはもちろんですが、実際に街中にあるお店にも足を運んでほしいと願っています。

——大学での専攻は。都市生活学部で都市プランニングを専攻しています。街の特徴をとらえてどう集客につなげるかを考えたり、街に眠る魅力を発掘したりするゼミです。都市開発から地域活性化まで、フィールドワークを踏まえて、街の将来像を考える作業はとても面白いです。

——マルシェに期待すること。新百合ヶ丘の住宅街には隠れた名店もあります。マルシェをきっかけに新百合ヶ丘を好きになってもらい、多くの人があるお店に興味を持ってくれればいいなと思います。（聞き手・加藤干城）

■この記事・写真等は読売新聞社の許諾を得て転載しています。

無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

学校法人 五島育英会